

帝人株式会社 ■ 広報・IR室

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150

●大阪本社 〒541-8587 大阪市中央区南本町1丁目6番7号

TEL.06-6268-2763 FAX.06-6268-3010

●URL <http://www.teijin.co.jp>

2010年 3月30日

顧客ニーズの具現化に向けて活用！ 新コンセプトカー『PU_PA EV』の完成について

帝人株式会社

帝人株式会社（本社：大阪市中央区、社長：大八木 成男）は、このたび、帝人グループの素材や技術を結集し、5～10年先の自動車をイメージして、実際に走行可能な、重量が500kgを切る軽量コンセプトカー『PU_PA(ビューバ) EV』を製作しました。

『PU_PA EV』は、実走行を可能とする剛性を備えつつ、軽量化やハイブリッド化、電気自動車化に向けたさまざまなソリューション技術を融合させたシンボルカーで、3月30日より、帝人グループの素材・技術を紹介する総合展示場「テイジン未来スタジオ」にて展示を開始します。

今後、顧客である自動車メーカーや部品メーカーに向けて、帝人グループの自動車を取り巻くソリューションをアピールするとともに、顧客の新たなニーズを探り、共同開発テーマの設定へと結び付けていきます。

詳細は以下のとおりです。

1. 背景

- (1) 帝人グループでは、「自動車・航空機」「情報・エレクトロニクス」「ヘルスケア」「環境・エネルギー」の4分野を注力市場と位置付けており、各分野において積極的に市場開拓および技術開発に取り組んでいます。
- (2) 中でも自動車分野については、2007年11月に新設した帝人グループの総合展示場「テイジン未来スタジオ」内に、帝人グループの素材を使用して製作した実物大のオリジナルコンセプトカー『PU_PA』を展示し、そこで直接接する顧客に最終製品のイメージを持っていただくことにより、素材開発のスピードアップを図ってきました。
- (3) 2008年には、顧客との共同開発の場として「先端技術開発センター」（山口県岩国市）と「複合材料開発センター」（静岡県御殿場市）を新設し、既設の「プラスチックテクニカルセンター」（千葉市）と併せ、「カスタマーズラボ」の機能の充実化を図りました。

- (4) また、2009年4月には、「自動車・航空機」関連のビジネス拡大を目的として、CEO直轄組織である「モビリティビジネス企画室」を新設し、自動車ビジネスの拡大や、CO₂削減ニーズに対応するための自動車の軽量化やハイブリッド化、電気自動車化に向けた素材技術の開発に取り組んできました。
- (5) こうした取り組みを経て、このほど、帝人グループの持つ環境対応技術を駆使することにより、5~10年先の自動車をイメージして実際に走行可能なコンセプトカー『PU_PA EV』を製作しました。素材の『見える化』により、顧客からのより具体的なニーズを掘り起こすマーケティングツールとして活用していきます。

2. 『PU_PA EV』について

(1) 概要

- 定員：2名
- 車体重量：437kg（一般的な従来型電気自動車の約2分の1）
- 常用速度：60km/時
- 1回の充電による走行可能距離：100km

(2) 組み込まれているソリューション技術

【軽量化】

- 炭素繊維複合材料のコア構造設計によりボディを軽量化。
- ガラスの2分の1比重の、熱線吸収機能を持つポリカーボネート樹脂を窓に使用。
- 一体成形などの技術を用いて部品のモジュール化。約20点まで部品点数を削減。

【バイオ化】

- シートやマットなどの内装材にバイオPETを使用。

【環境負荷低減】

- メッキ代替金属調フィルム「テフレックス®」を使用。
- ロードノイズを低減するタイヤコードとしてPEN繊維「テオネックス®」を使用。
(PEN：ポリエチレンナフタレート)

【エレクトロニクス】

- 配線なしで多数の機器の相互通信が可能な2次元通信シート「セルフフォーム®」を使用。

以上

※画像データをご入用の際は、下記 広報・IR室までお申し付け下さい。

【 当件に関するお問合せ先 】

<報道関係のお問合せ>

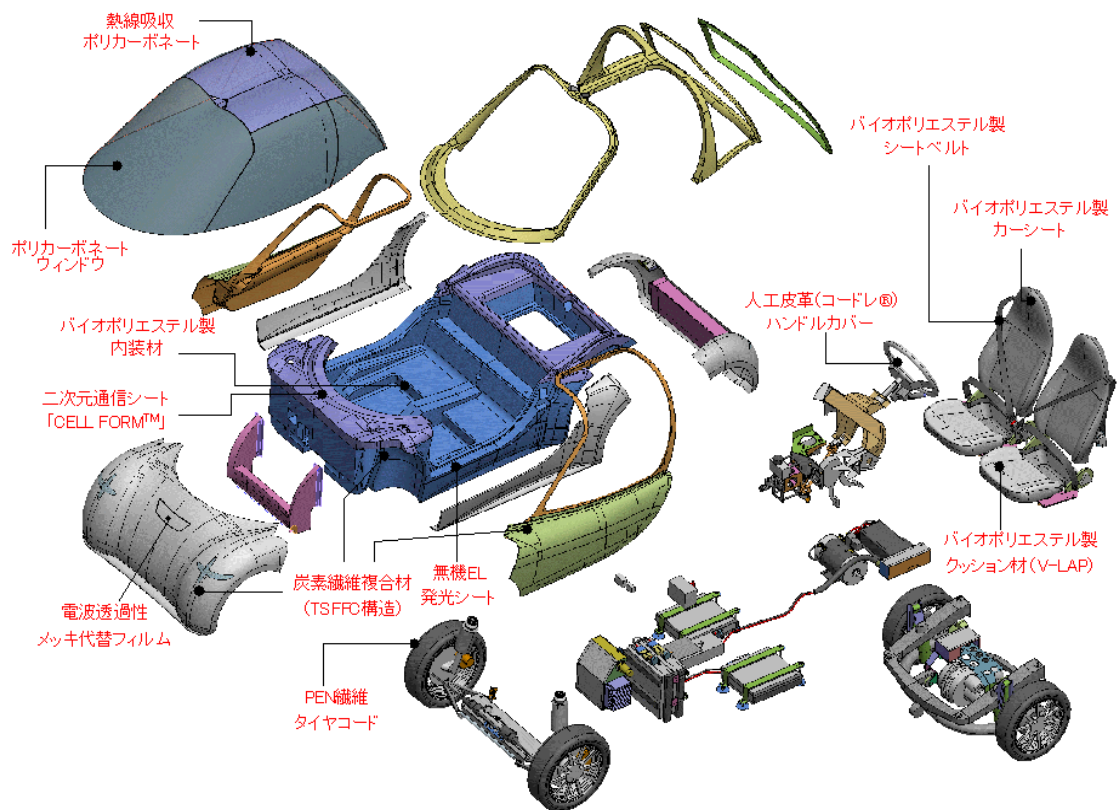
帝人株式会社 広報・IR室 [東京] (03)3506-4055 [大阪] (06)6268-2763

<その他のお問合せ>

帝人株式会社 モビリティビジネス企画室 (03)3506-4718



コンセプトカー『PU_PA (ピューパ) EV』



モジュール化の上、組み込まれた帝人グループの素材と技術